

サツドラホールディングス



グループ企業のシナジー強化と働き方改革を実現する新しいコミュニケーション基盤を構築



製品 & サービス

- ・ Cisco Spark
- ・ Cisco TelePresence

課題

- ・ BCP（事業継続）、働き方改革的な観点でのコミュニケーション ツール整備
- ・ 店舗やグループ企業間のむだな行き来やコミュニケーション ロス

ソリューション

- ・ Cisco Spark と Cisco TelePresence によるミーティング開催
- ・ 店舗状況のリアルタイムな把握と意思決定
- ・ 移動負荷の軽減、コスト削減

結果～今後

- ・ 外部との協働加速
- ・ エリアを超えた店舗支援、教育実施

サツドラホールディングスは、北海道を中心に運営するドラッグストア、「サツドラ」のリアル店舗とマーケティングの融合により、「お客さまの暮らしになくてはならない生活インフラ企業になること」を目指し、さまざまな事業を展開しています。今回、拡大する各事業とグループ企業がスピーディかつ柔軟に相互連携してシナジーを発揮し、働き方改革を実現するための新しいコミュニケーション基盤として、Cisco Spark と Cisco TelePresence を導入しました。

直感的な UI による使用感と見た目もスマート、というのが第一印象でした。いま現在だけでなく未来に向けて、シスコが考えるコラボレーションや新しい働き方の思想に共鳴した、というのが導入の決め手です。

—— サツドラホールディングス株式会社 代表取締役社長 富山 浩樹 氏

サツドラホールディングスは、サッポロドラッグストアなどを事業会社とした純粋持株会社で2016年に設立されました。サッポロドラッグストアは、1972年の創業からサービスを拡大しながらドラッグストアの出店を重ね、北海道を中心に「サツドラ」を約200店舗出店。その店舗ネットワークを活用した「リテール（小売）とマーケティングの融合による暮らし改革の実現」のために、株式会社サッポロドラッグストアが運営するドラッグストア事業のほか、北海道地域共通ポイントカード EZOCA などの地域マーケティング事業を行う株式会社リージョナルマーケティング、エネルギー事業の株式会社エゾデン、さらには AI（人工知能）の技術を活用したプロダクトの研究開発を行う AI TOKYO LAB 株式会社など、多岐にわたるグループ企業により構成されています。

課題

サツドラホールディングス株式会社 代表取締役社長 富山浩樹氏は「リテール（小売）とマーケティングを融合させ、お客さまの“暮らし変革”を実現させるために、ホールディングスの各事業が集い、強くしなやかに結びつき、互いの力を高めあうことが必要になります。ホールディングスにおける社内と外部で協働するプロジェクトの増加、組織戦略における「働き方改革」。経営をスピーディに進めるにあたり、無駄な移動やコミュニケーション ロスをどのように無くすかが懸案事項でした。」と話します。



サツドラホールディングス株式会社
代表取締役社長
富山 浩樹 様



株式会社サッポロドラッグストア
業務システム部
IT 基盤担当
成澤 公彦 様



株式会社サッポロドラッグストア
ドラッグストア運営部
支援・推進担当 マネジャー
兼 作業システム改革担当
安士 貴雅 様

株式会社サッポロドラッグストア ドラッグストア運営部 支援・推進担当 マネジャー 兼 作業システム改革担当の安士貴雅氏は、店舗運営側の立場で、「各店舗の実態を把握し、商品展開も多様化する中で、その都度、現地に出向く、打ち合わせのために集まる、という負荷は相当なものでした。」と話します。

株式会社サッポロドラッグストア 業務システム部 IT 基盤担当 成澤公彦氏は、本部運営側の立場から、北海道という地域特性も検討のファクターであったと次のように話します。

「雪害や水害といった自然災害時のBCP（事業継続）の観点と、広範囲なエリアを担当するマネジャーの出張経費や身体負担を軽減したい、全体会議の開催にかかる調整負荷を軽減したい、といったことも重なり、コミュニケーション ツールをどう変えるかを長年、討議してきました。」

また、サツドラホールディングスでは「サツドラ ジョブ スタイル」という働き方改革の取り組みも実施しています。パートナーと協働で一緒に夢を実現するオープン イノベーション制度、ひとりひとりの意志を尊重する チャレンジ ジョブ制度、そしてそれぞれのライフ スタイルを生かす多様な働き方促進制度という3つの取り組みを掲げ、女性活躍、在宅ワーク、シニア活躍、副業、兼業、パラレル ワーク（外部人材の受け入れ）といった多様な働き方の実現を目指すものです。代表の富山氏は「積極的にチャレンジ、活躍できる組織を作りたい。人を雇う、ではなく仲間を集める感覚です。そのためにもコミュニケーションのしやすさは非常に重要なのです。」と話します。

サツドラホールディングスでは従来型のビデオ会議システムを導入していましたが、現場活用には問題が多かったといいます。IT 基盤担当 成澤氏は、「画質や音質が悪く、例えば化粧品などの商品勉強会では色味がまったく変わってしまい、これでは使えないという声が上がっていました。北海道はエリアが広いため回線状況が不安定な地域もあり、映像がコマ落ちする、表情が見えない、音声も聞き取りづらいなど、満足には程遠い状況でした。」と話します。

BCP、店舗運営、グループ シナジー強化、働き方改革などの観点でコミュニケーションが重要です。

ソリューション

Cisco Spark と Cisco TelePresence により従来課題を一気に解決

同社では検討にあたり、シスコと NTT ドコモの協力のもと、各メーカーの無償版から有償版までのコミュニケーション サービスとスマート デバイス端末を用意し、実際に北海道と東京とをつないだ通信テストを実施し、実務に耐えるか否か、の観点で絞り込みを行いました。そして2017年2月、シスコ六本木オフィスのデモで圧倒的な臨場感と画質、音質を体感し、その場で採用が決定。同年3月上旬には Cisco Spark の展開が完了、というスピード感で導入が進みました。また、同タイミングで Apple iPhone 500 台、店舗に iPad 200 台を配備しました。代表の富山氏は選定のポイントと展開についてこう話します。

「とにかく、直感的な UI による使用感と、見た目もスマート、というのが第一印象でした。Cisco Spark の SNS 的なアプリと、Cisco TelePresence のシームレスな連携、圧倒的な臨場感には驚きました。今後の展開を考えると誰でも使えて、ほかのツールともつながる、というのは必須でしたが、さらにいま現在だけでなく未来に向けて、シスコが考えるコラボレーション ツールや働き方についての思想に共鳴した、というのが決め手でした。iPhone や iPad を一気に導入したのも、この先、なくてはならないツールであり、そしてこれなら使えるからまずは触ってみてほしい、という思いからです。誰でも使えるツールで、とにかく全員に使ってもらうことを大切に考えました。」

その後、2017年9月にビデオ会議端末である Cisco TelePresence の主要拠点への配備が完了しました。活用と導入効果について、ドラッグストア運営部 支援・推進担当の安士氏は、「これまでは拠点の中間地点に双方が移動して実施していたため都合が合わないメンバーがいることもありましたが、定時の打ち合わせをきちんと決められた時刻に行えるようになりました。月次での業績共有ミーティングも各地区にいるマネジャー間で Cisco Spark と Cisco TelePresence で実施しています。参加者の顔色も、手に持っている資料の細部まで見えます。

Cisco Spark & Cisco TelePresence



パートナーを交えた
Cisco Spark & Cisco TelePresence ミーティング風景。



遠隔からの参加の様子。LTE 通信対応の PC からでも
驚きの高画質でミーティング可能。

サツドラグループ運営店舗

ドラッグストア、インバウンド対応型店舗から、北海道の魅力を取りそろえたセレクトショップまでバラエティに富んでいる。



<札幌>サツドラ狸小路 5 丁目店



ビューティ売場



<札幌>サツドラ旭ヶ丘南 8 条店



ヘルス売場



<札幌>北海道くらし百貨店札幌ノルベサ



北海道くらし百貨店 食のミュージアム売場



<東京>サツドラ上野御徒町店



<福岡>サツドラ福岡シーホーク店



<沖縄>
サツドラ沖縄北谷
アメリカン
ビレッジ店

サツドラ ホールディングス 株式会社



**SATUDORA
HOLDINGS**

本社所在地

北海道札幌市北区太平 3 条
1 丁目 2 番 18 号

設立

2016 年 (平成 28 年) 8 月 16 日

資本金

1,000 百万円

売上高

87,844 百万円 (2017 年 5 月期 連結業績)

従業員数

2,314 名

(サツドラホールディングス連結従業員数)

うち、パート社員及びアルバイト 1,530 名
(2017 年 5 月 15 日現在)

URL

<https://satudora-hd.co.jp/>

北海道を中心にドラッグストア「サツドラ」を約 200 店舗展開するほか、調剤事業、地域マーケティング事業、エネルギー事業、IT 事業など多面的にビジネスを展開。お客さまの暮らしになくてはならない「生活インフラ企業」になることを目指し、2016 年にホールディングス化。

これまでは拠点の中間地点に双方が移動して実施していたため都合が合わないメンバーがいることもありましたが、なにより身体的負荷の軽減と、移動にかかるコストダウン効果は相当なものだと思います。また、店舗の運営を担当するマネジャーは車で移動することが多いため、駐車場の車内からでもミーティングに参加できることは非常に好評です。」と話します。

IT 基盤担当 成澤氏は BCP 的な効果について、次のように話します。

「店舗での事故など緊急事態の場合に、従来の駆けつけ対応や電話だけの共有に比べ、Cisco Spark なら現場の画像や映像をリアルタイムに経営層まで共有できます。これにより、意思決定と対応が圧倒的に早くなり、コンプライアンス的にも心強いです。」

代表の富山氏は、「毎週行う経営陣のウィークリー ミーティングも場所を気にすることなく、東京や台湾などからも参加しています。重要な打ち合わせでは特に音質が悪いと非常にストレスを感じるものです。その点、Cisco TelePresence は音質、マイクの性能に加え、映像品質も鮮明で驚きました。」と話します。

結果～今後

現在、主に社内コミュニケーション、ミーティングにおいて効果が出ているが、今後は外部とのコミュニケーションにも活用していきたいという。

IT 基盤担当 成澤氏は「すでに NTT ドコモ様とはテストをかねて実際に活用し始めました。Cisco Spark なら誰でもアプリがダウンロードできるので、展開しやすいと感じています。また、コンプライアンスに関わる事項が解決できれば、社内ネットワークと個人端末の壁を超えるクラウドサービスとしての期待もあります。豪雪時の社員の安否確認などにも活用できると思います。」と話します。

ドラッグストア運営部 支援・推進担当の安土氏は「我々が注力しているインバウンド観光客向け店舗は沖縄や福岡など全国展開しています。今後はエリアにしばられない店舗の支援や教育、成功事例の共有などができると期待しています。」と話します。

代表の富山氏はシスコへの期待を込めて、次のように語ります。

「シスコ製品は先鋭的かつシンプルで、働き方の多様化への対応にも積極的な印象です。今後も各ツールや技術のブラッシュアップに期待すると共に、我々の開発する AI との連携など、常にどこでもつながる、オープンな思想を貫いてほしいですね。」

その他の詳細情報

シスコ コラボレーションの詳細は、www.cisco.com/jp/go/collaboration を参照してください。

©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2017 年 11 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先